

## 第9回

新型コロナウイルスの影響に関する緊急実態調査

## 報 告 書

製造・繊維・建設設備・卸売・小売・飲食サービス業

令和4年7月29日

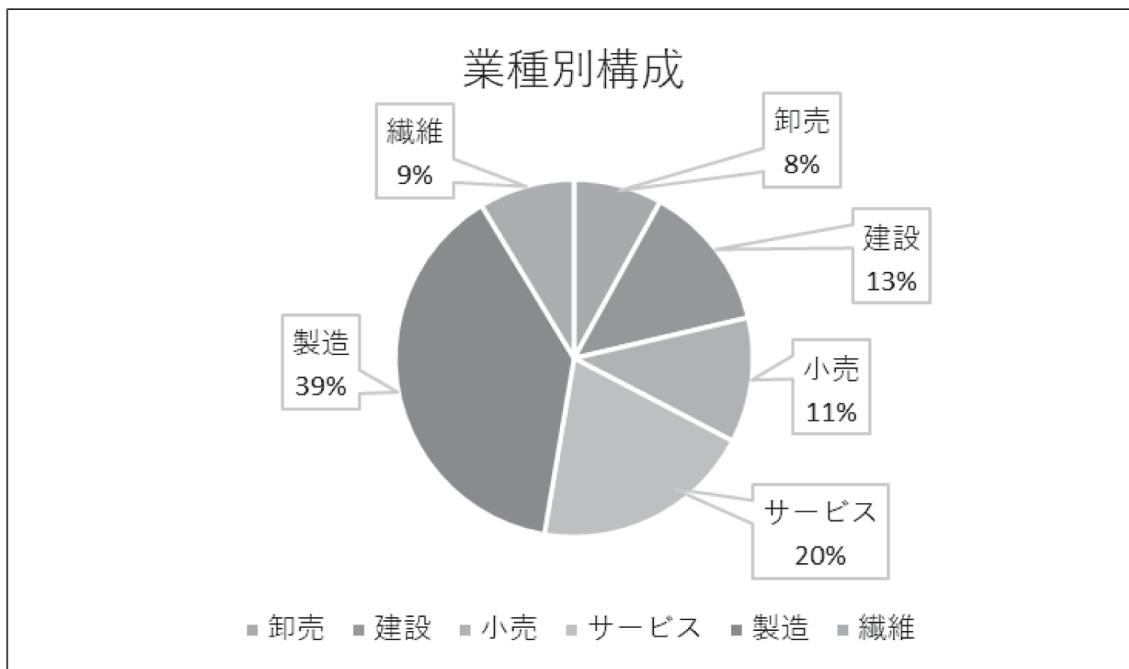
足利商工会議所

## 調査概要

- 1 調査目的 新型コロナウイルス感染拡大に伴う企業経営への影響について、その実態を把握することで今後の商工会議所事業を行う上での基礎資料とする。
- 2 調査期間 令和4年6月22日（水）～7月15日（金）
- 3 調査対象 製造・繊維・建設設備・卸売・小売・飲食サービス 207件
- 4 調査方法 調査票を郵送し、ファックスもしくは郵送による回収。
- 5 有効回答数 150件（回答率72.5%）

# 調査結果

## (1) 回答企業の業種別構成

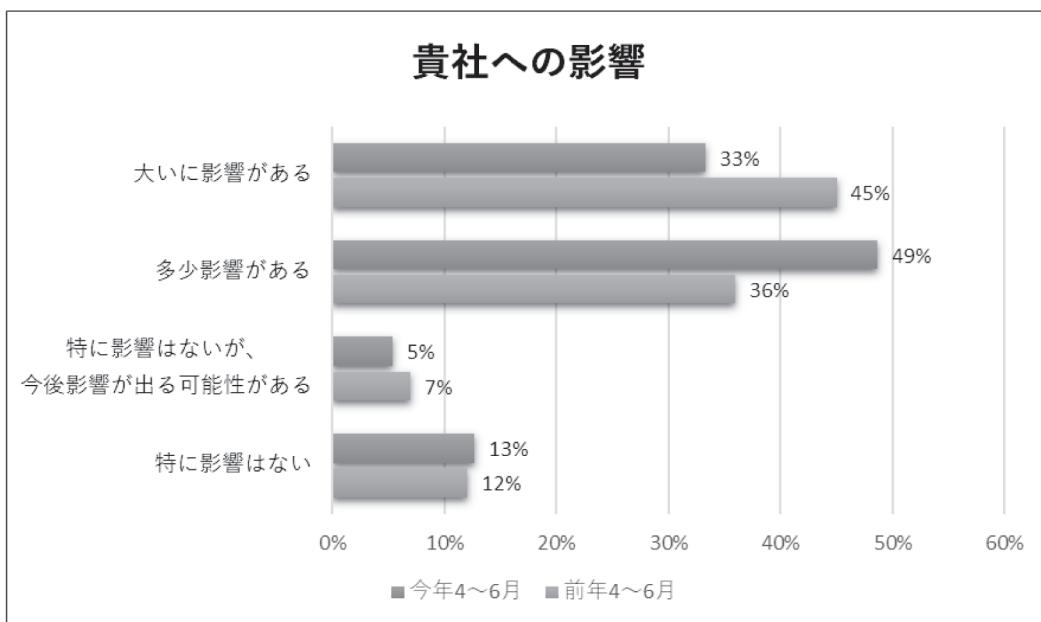


## (2) 影響の有無

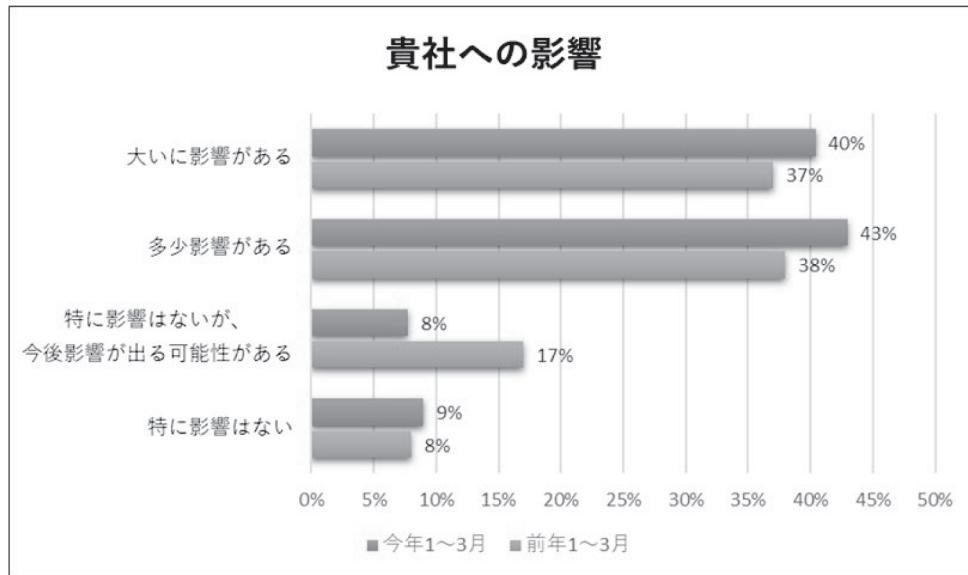
【R 4. 4～6月期】

貴社への影響について、前年同期と比較したところ、「大いに影響がある」と回答した企業が 33%で、前年同期比 12 ポイント減少している。

また「多少影響がある」と回答した事業所は 49%で、前年同期比 13 ポイント増加している。

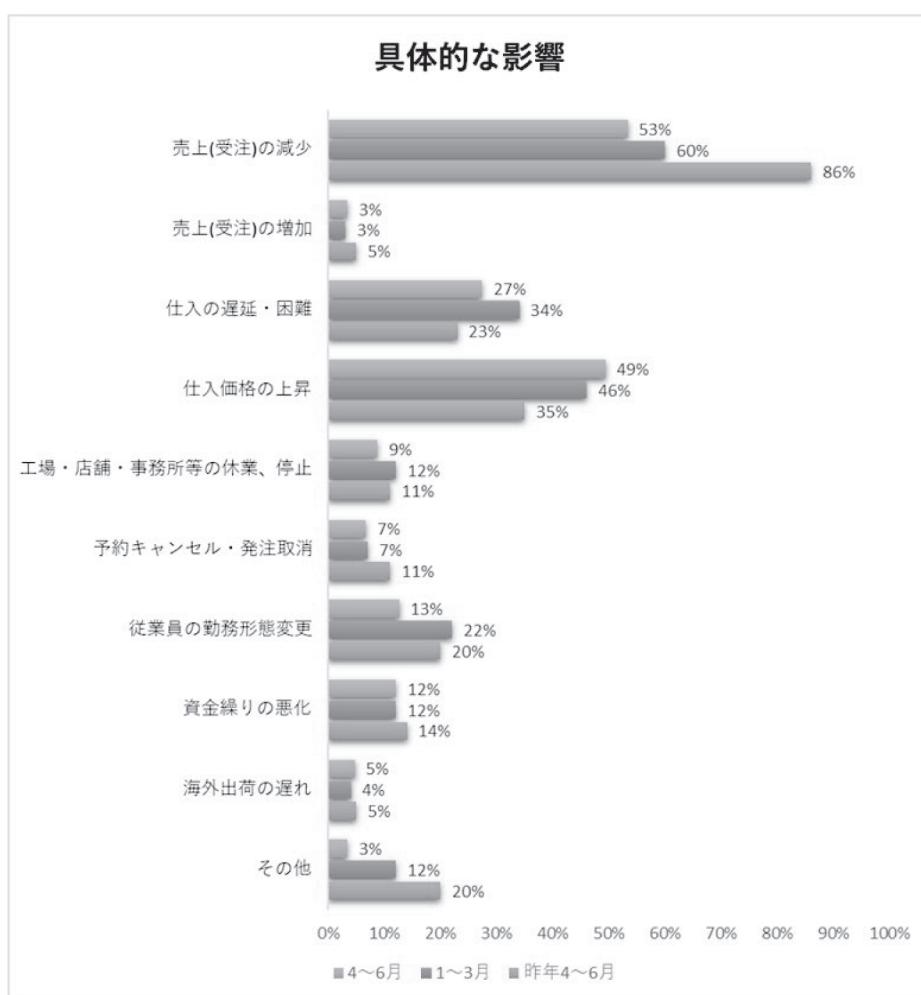


## 【R4. 1～3月期】



### (3) 具体的な影響（複数回答）

前年同期、前期と比べ「売上（受注）の減少」は減少しているものの、影響は依然として多い。また「仕入価格の上昇」は増加傾向にある。



\*上記、その他の内容

【建設業】待機社員の発生

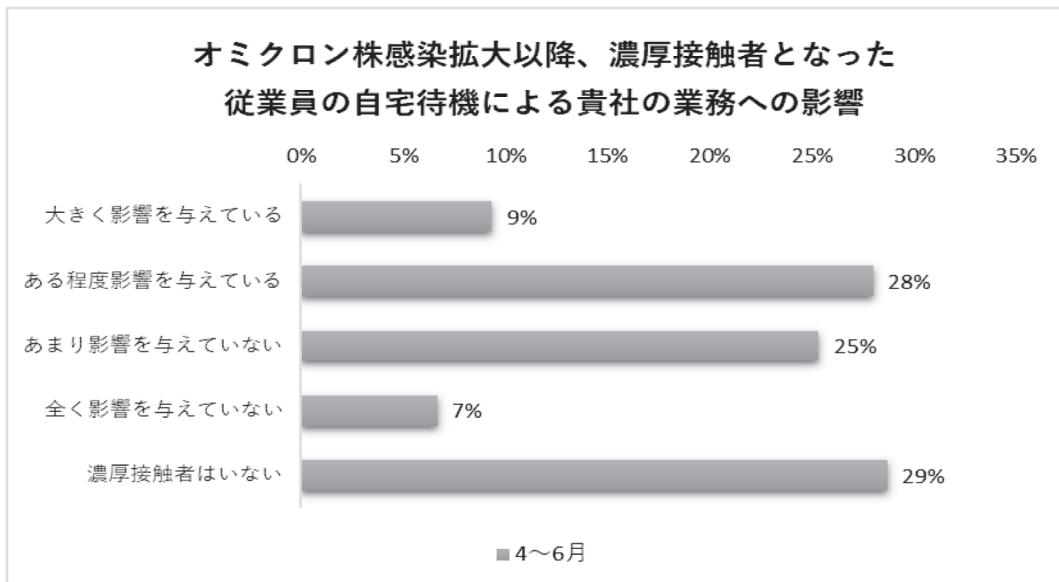
【サービス業】対面営業

【製造業】商品構成が変わる

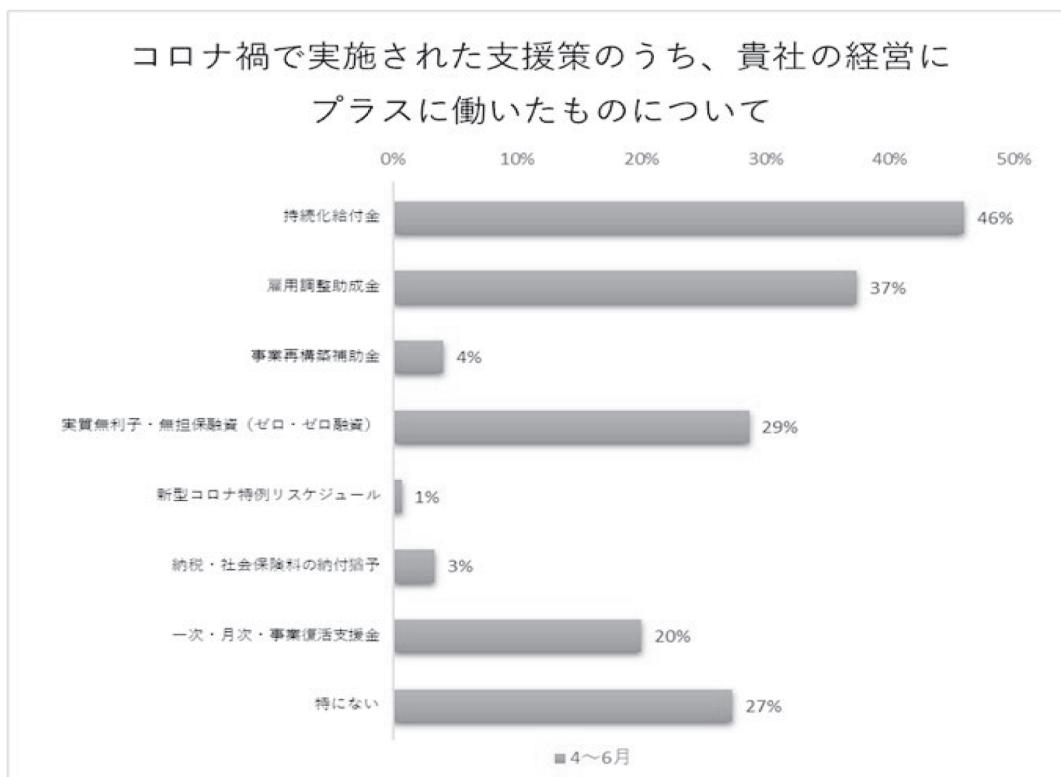
【製造業】半導体不足による得意先の生産ラインの組み換えが頻発

【製造業】外国人技能実習生の減少

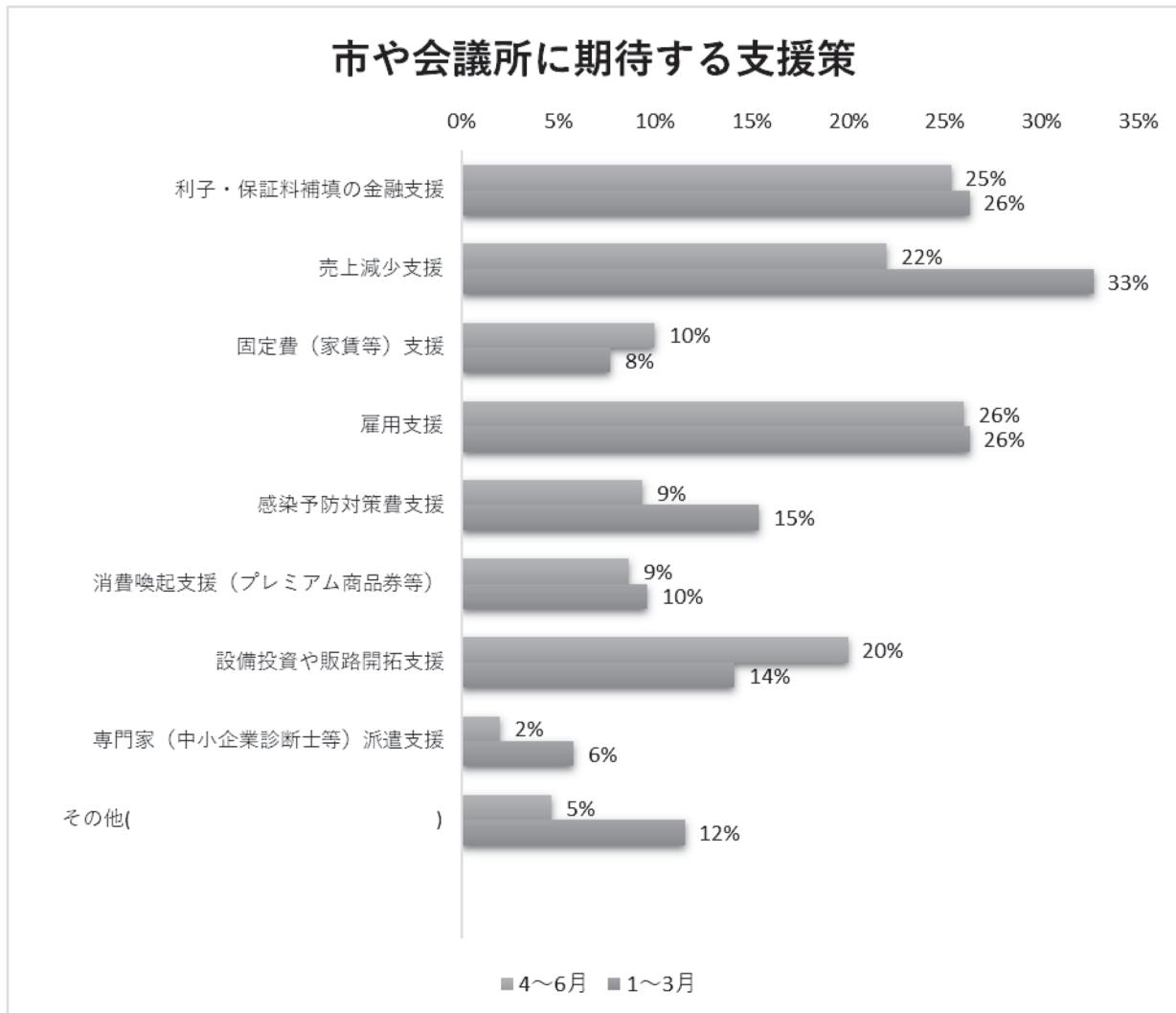
#### (4) オミクロン株感染拡大以降、濃厚接触者となった従業員の自宅待機による貴社の業務への影響



#### (5) コロナ禍で実施された支援策のうち、貴社の経営にプラスに働いたものについて



## (6) 市や会議所に期待する支援策



\*上記、その他の内容

【小売業】何も期待できない。

## (7) 今後の必要な支援・要望等

【卸売業】

- ・今年に入ってオミクロン株に変異後、ワクチン接種のメリットがあつてか重症化率は低い。去年までほど驚かなくなつた。ウィズコロナ政策が効いている。熱中症対策もあるのでマスクを外してもいいと考える。

【小売業】

- ・感染者、濃厚接触者の療養期間の短縮
- ・事業持続化給付金、復活支援金の再度支援

### **【サービス業】**

- ・コロナ禍になり、2年半が経過、人々の生活スタイルが抑制された状態に定着しつつある。今後新たな市場の開拓が必要かもしれない。足利市独自の生活スタイルの提案が新市場の確立に必要になると思います。

### **【製造業】**

- ・不明確な要素が多いので、コロナウイルス感染症の影響が断定できません。
- ・2年のコロナ禍により、市場の動向、前年対比など、これまで参考としてきたデータ類があてにならず生産計画、資金繰り（円安も関係してくるが）の中長期計画が作りづらい状況となっている。
- ・今後下降状態、日本国内も世界の潮流に歩調を合わせる形で金利上昇に直面するだろう。安い借り入れ、支援要請は結果として事業者の首を絞める事態に直面することが遠からず来るだろう。